

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2010 年
10 月号

VOL.348



HP情報

- 入会大キャンペーンについて
(期間:平成22年9月1日~11月30日)
- 神事協フェア開催
(平成22年10月21日 横浜市技能文化会館多目的ホール)
- 建築士事務所キャンペーン in 小田原 開催
(平成22年11月13日~14日 ダイナシティ小田原ロビンソン百貨店内)
- 平成22年度違反建築防止週間の実施について
- 財建築行政情報センターにて
Web版「よくわかる木造住宅の耐震設計」を公開



目次

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| ① 建築探訪 | ⑩ 行政レポート |
| ② 会員建築作品紹介 | ⑪ 健康教室 開催報告 |
| ⑤ 歴史的建造物を訪れて | Town View |
| ⑥ シリーズ名経営者の建築と風水(10) | ⑫ 森林循環フェア 開催案内 |
| ⑦ 工事業業者等の倒産に伴うトラブル対処
法研修会 開催報告 | 建築士事務所キャンペーン 開催案内 |
| 住・緑・家コンペ 進捗状況報告 | 読者の広場 |
| ⑧ 委員長会報告 | ⑬ 神事協 歌壇・俳壇 |
| ⑨ 委員会活動報告 | 旅のクイズ |
| 第5回 支部長合同ブロック支部委員会開催報告 | ⑭ 事務局便り |
| | 編集後記 |

相模原市立博物館

相模原支部 有泉 ひとみ

建物概要

所在地 神奈川県相模原市高根
敷地面積 9,999.48㎡
構造 鉄筋コンクリート造・鉄骨造
規模 地下1階 地上3階建て
延床面積 9,510.24㎡
設計者 (株)建築研究所アーキヴィジョン

40数年前、横浜から引っ越してきた私にとって、相模原は平地で雑木林がずっと広がるターザンが出てくるジャングルのような風景でした。

相模原は上段・中段・下段と3段階の高低差があり、以前の市役所は中段にあり、さらに大昔は川のある下段に人々が住んでいましたので、上段は私が驚いたジャングルであった事は納得できます。また、段丘崖には貝殻などの化石が見え、アンモナイトを見つけた友人もいる程、今からはとても想像出来ない風景でした。その懐かしい風景がここにあります。

そんな光景を思い出しながら、もっと過去に遡りさらに現代を超えて未知の宇宙まで旅することが出来るのは、展示が上手なこともあります。想像力を掻き立てるようなこの博物館の建物のすばらしさだといつも関心してしまいま



す。ここで、私と一緒に雑木林で覆われた緑と一体となった相模原市立博物館を想像してください。

まず、博物館横の駐車場に車を停めます。ここもとても憎い仕上がりになっていて、床もきちんと整備されているのに雑木林の木と木の間に車を停める感じ。既に、ここから博物館は始まっています。木洩れ日のある美しい雑木林の中に少し弧を描いた低い庇に導かれ、自然と館内に。エントランスホールを境に右手にプラネタリウム、右奥から展示室となります。ここで、先にプラネタリウムを見ては過去から未来というストーリーが繋がらないのです。堂々と右手にプラネタリウムの看板がある



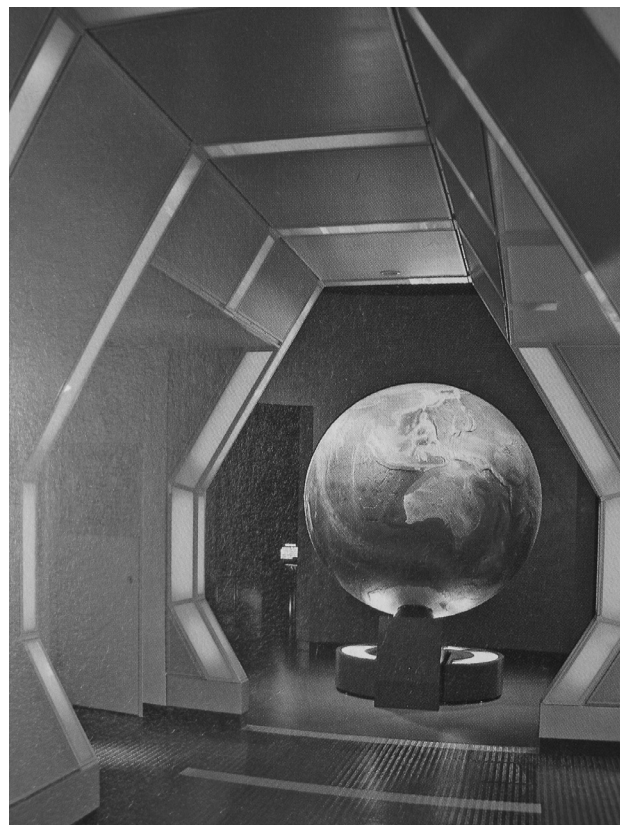


っています。そしてこの展示室を出ると正面にプラネタリウムが目に飛び込み、プラネタリウムの円形の壁に導かれ天文展示室もしっかり見学し、気が付くとプラネタリウムを見ているフルコースの自分がいます。しかし、2年前までは、さらにスペシャルフルコースがありました。2階に円形の喫茶室があり、ここは円形の壁に沿って上部から明かりが漏れ、バランスの良い大小の窓によりここも外部との繋がりを感じつつ、壁で囲まれる事の安心感を感じ古代米の遅い

のにまず先に進んでしまうのは、右側を気にしないよう左にトップライトによる上部からの明かりが差し込むショップや展示室前の中庭によって、外と中が曖昧な状態のまま自然と展示室に誘導されるのです。展示も10万年前から現代へと飽きることのない工夫を凝らした展示とな

昼食。現在は、休憩室になってしまったのがとても悲しいです。この博物館は平成8年度神奈川県建築コンクール最優秀賞をはじめ、多くの賞をとりました。昔の相模原を知らない方にも満足して頂けるあらゆる憎い手法を実際に見て頂けたらと思います。

2



会員建築作品紹介



4号棟「中村ビル」

横浜支部 (有)アルタック 高橋 保博

■計画概要

用 途: 店舗・事務所

構 造: 鉄骨造5階建

建築面積: 157.01㎡

延床面積: 757.72㎡

当建物は地元で喫茶店を営んでいた地権者が従前資産の管理処分で取得することになったものである。1階で営業を継続すること希望されていた。他階はテナントを誘致する計画だった。

2階レベルがペデストリアンデッキに接続している。まちづくりルールで歩行者空間を確保するためセットバックしている。また地区計画でスカイラインを揃えるため5階部分も下がっている。

飲食や物販の店舗の床面積の合計が300㎡を超えるとバリアフリー条例の対象になるので、どのような業態の店舗が入ってもよいように条例に則った計画にした。廊下の幅、階段の幅、踏面や蹴上げの寸法、開口部の幅、身障者便所の設置、エレベーターの仕様等について留意した。

懸念事項として以前の浸水の経験から、防潮板の検討がなされた。昨今のゲリラ豪雨による浸水は不安材料であり、1階内にスロープを設けエレベーターの着床を70cm上げることに決定した。1階エントランス脇の高圧引込キャビネットもかさ上げた。

構造

重量鉄骨造外壁ALC版スライド工法を採用した。パラペットは内側にRC壁を立ち上げ外壁のALC版と分離することにより、スライドに追従するよう計画した。建築基準法改正により、構造計画の途中変更は、再申請となることから意匠と相違がないように慎重に調整を行った。

設備

テナント部分はスケルトンだが、建築基準法や消防法を満たすように換気設備、排煙設備、非常照明、自動火災報知設備、誘導灯等を設置した。どのようなテナントにも対応できるように、給排水設備が自由に設置できるように床の一部を30cm下げた。各階専用の厨房用排気縦ダクトを先行設置した。エアコン冷媒管用PSも設置した。

苦労したのが電気容量設定であった。最近のテナントは電気使用量が多くなる傾向にある。しかしながら、いたずらに容量を増やすことは、基本電気料金にはねかえり、ひいては他のテナントの負担を増やすことになる。あるレベルを想定しそれを超えるテナントのオファーがあった場合は、お断りしようということになった。

まちづくりルールでの軒下照明や壁面照明はLED器具を採用した。初めての採用だったが、消費電力が1/8になったのに照度、色温度等申し分ない効果を出している。

セキュリティについては警備会社と、建物の使い方のシミュレーションを繰り返しカード認証方式を採用した。

平成22年3月下旬、1階の喫茶店がオープンした。常連の客や新しい客からも、評判は上々のようである。他のテナントも順調に推移することを願っている。



ペデストリアンデッキ上の外観



1階喫茶店

会員建築作品紹介



8号棟「銀行の店舗」

横浜支部 (株)日創設計 夏目 栄治

■計画概要

用 途：銀行
構 造 鉄骨造8階建
建築面積 270.56㎡
延床面積 1848.82㎡

再開発個別ビルゾーンの銀行店舗を担当しました。

プランについて

- ・建物の用途が公的要素の高い銀行ということで「人へのやさしさ」をテーマにバリアフリー、ユニバーサルデザインを強く意識して設計に取り組みました。またお客さまだけではなく行員の方にも快適な空間で業務ができるように心がけました。
- ・プランの構成でセキュリティが重要なポイントになるため銀行とは度重なる打合せをおこない明確なセキュリティゾーンに配慮しました。
- ・当計画は既存2店舗が統合され新店舗に集約するため2店舗からの要望・意見を調整しながらプランニングを進めました。しかし店舗内に入る部署の選定がなかなか決まらず時間がかかってし

まい、何度か大幅なプラン変更が発生したため計画変更の手続き、現場への変更の指示などの調整等の対応に追われづくしのプロジェクトになりました。

外観について

外観について3つのテーマを考慮しました

- ①再開発による「まちづくりルール」の取り入れ
- ②企業CI(Corporate Identity)の表現
- ③銀行の建物として落ち着きある雰囲気を出す

「まちづくり」として個別活用ゾーン内の建物の調和。歴史の街、戸塚宿らしさをコンセプトにアドバイザーである大学の先生の意見を取り入れ、色彩の統一、アクセントカラーの導入、看板の制限など「まちづくりルール」を作成しました。しかし「まちづくりルール」と「企業CI」で相反する点が多々あり「歴史感と現代感の感性の違い」を調整することに苦労しました。

外観デザインは縦連窓サッシにより縦ラインを強調しシンプルで重厚感のある列柱のイメージとし落ち着きある雰囲気の演出をおこない銀行に大変満足してもらっています。

4



8号棟外観

旧横須賀鎮守府長官官舎

横須賀支部 小泉 厚

京浜急行県立大学駅のすぐ裏手、東京湾を一望する通称「長官山」と呼ばれる田戸台の小高い丘の上に、今回紹介する旧横須賀鎮守府長官官舎があります。

横須賀の中心街から少し外れ、現在、裁判所等が建つこの「長官山」は、もともとは海軍の居住地として大きな区画の街区を形成していました。

大正2年に竣工したこの建物は、木造平屋建て洋風館と二階建て和風館が接合した様式で、敷地外からも見える大きな亜鉛葺切妻屋根の洋館部分は、イギリス式住宅の特徴である木部を装飾的に見せその間の壁を漆喰等で埋めたハーフトインバーと、ベランダの三連チューダーアーチが特徴的な建物です。また、和風館の方は簡素で機能的に作られており、この異なった佇まいが不思議と調和し、明るく開放的な雰囲気のある建物になっています。

但し、防衛省では文化財保護の名目の予算が下りず、継続使用することで修繕可能という事情から、貴重な建物であるにもかかわらずかなり手が加えられており、竣工時は下見板張りだった外壁は煉瓦タイル張りとなり、窓が一部アルミサッシに換えられています。また残念なことに玄関正面にはアルミ製のカーポートが取り付けられており、一見するとどこかで見たことのある高級住



宅地の邸宅のような雰囲気も持ち合わせています。

企画設計にあたった横須賀鎮守府施設部長桜井小太郎氏は、ジョサイア・コンドルの事務所で建築実務の指導を受けた後、ロンドン大学建築学科に留学し、日本人として初めて英国公認建築士の称号を得た人物で、国の重要文化財に指定されている「旧呉鎮守府司令官官舎」をはじめ、三菱地所の技師の時代には「丸の内ビルディング旧館」等も手がけました。

この建物の初代入邸者は海軍中将東伏見官依仁親王で、以来昭和20年の終戦までに34代の歴代長官が居住し、戦後はデッカー海軍大佐から9人の米海軍司令官が居住しました。戦後の当時を懐かしむ人には、米人の将校がキリッとした制服で米車を乗り回している姿は憧れだったようです。

昭和44年に防衛庁に移管され、現在は海上自衛隊横須賀地方総監部田戸台分庁舎として国内外高官・要人の接待、レセプション、観桜会、各種の会議場などに使用されています。

通常は見学不可ですが、毎年4月の桜の時期に一般開放されており、今回は昨年春訪れた際の写真を掲載させていただきました。

桜の季節、よく手入れされた庭園がきれいです。

京浜急行県立大学駅下車・徒歩10分

シリーズ 名経営者の建築と風水(10) <総集編>

県西支部 稲葉 勉

なぜ、このようなタイトルにしたかといいますと、根拠のわかりにくい風水を科学的な現代建築に取り入れるのはいかなものか、と思っていました。そうは言っても常日頃から建築物や土地を扱う商売柄、「本当にそんないい事があるのなら風水を取り入れてみたいなあ・・・」という夢事がありました。それならば実際に成功を取めている人々はどうなのかと考え、あえて今回のシリーズでは、「この方法は風水じゃないのか？」と思える文を独自に抜粋し、成功の歴史を遡り風水解析してみました。その結果、意外にも、どの名経営者も「風水を取り入れている」という事が判り、記事を書いている私自身も「目から鱗」という展開が多く、とても勉強になりました。1月～9月号を振り返ってみます。

1. 松下幸之助 あえて鬼門というタブーをうち破る考え、根本「素直な心」を大切にし、独自の風水美学で人と運を引きつける。
2. 岩崎弥太郎 三菱のシンボルマークに潜む意味を持つデザインエネルギー、出生地にまつわる土地の風水。
3. 齊藤一人 方位を気にする人に対し、「その時」「その場所」がよいところ、今ある土地、建物に感謝し、きれいに掃除したりすることが風水の基本。
4. 苦米地英人 本物の秘伝の風水や気功も「内部表現の書き換え」つまり、心と脳の仕組みを理解すればその中に宇宙があり、風水もあるし現実に応用できる。
5. 帯津良一 風水は環境科学、建築医学からみると「病は家から」色彩は人の心の成長や脳の発達に影響する、香りも大切。
6. 藤田田 思慮深く全体を眺め知恵を絞る、立地条件、店舗設計にその場所にあったやり方で進める。マニュアル以上に動物的感觉を信じる。直感深く考え確信となる。
7. ビル・ゲイツ 自然に調和したインド風水を自社ビルの設計に採用、一人一人に感謝の言葉をかけ、適材を活かす人間性が成功の大きな要因。
8. 石原慎太郎 日本のキーパーソンが実行する現代の都市伝

説、東京マラソンにまつわる風水的復活のシナリオ。

9. 徳川家康 長い調和の時代が証明した、江戸の都市計画の基礎はブレイン天海僧正の日本の風水。

風水とは、今で言ったら「経営戦略」、少し昔は「戦国武将の戦略」でもあり、さらに古の時代は、平安京などの「国をあげての国家戦略」だった訳です。決して「若い女性の好きな占い事」では無く、「男の命をかけた勝負戦略」だったのです。

そこには、色や形や方位なども関係していますが、地球上の「地面」にも深く関係していて、それは最近では「レイライン」とよばれる地面上のエネルギーラインとも大きな関係がある事が判りました。前回掲載した「徳川家の風水」にも書きましたが、最古平安京、はたまた世界中の遺跡「エジプト」や「ストーンヘンジ」などにもレイラインは存在しています。

しかし驚いた事に実はそのレイライン、私たちの住むこの神奈川県にも実際に数多く存在しているのです。

例えば、この地図に示したように直線で5つの地点がつながるのはとても偶然とはいえない何かがあるはずです。霊とか気とかは目に見えませんが、これなら地図上で誰でも検証できます。山と神社との関係は現代人が見えなくなってしまった気のエネルギーラインを表している、そんな地的ロマンを感じます。不況が深刻な時だからこそ、いにしえの先人の知恵を今また改めて見直すチャンスなのかもしれません。



神山を中心に東西に30°そして霊峰富士を結ぶ30°のライン

三国山-九頭竜神社-神山-早雲山-明星ヶ岳を結ぶ30°、この角度は冬至の(日の出)ラインとなる。そして神山からの冬至の(日の入)西に30°方向は延長するとなんと富士山頂に正確に結ばれているのです。

「工事業者等の倒産に伴うトラブル対処法について」研修会 開催報告

設計監理指導委員会 副委員長 清水 煥二

今回、設計監理指導委員会が主催した研修会では、かながわ中央消費者生活センターから高梨昌久主査にも新しく始まる「住宅工事・建築相談アドバイス事業」についてのシステム説明を頂きました。その後、メインテーマとして、工事施工業者の倒産後に、同会委員の佐藤光良氏がコーディネーターとして急遽交代で陣頭指揮をとり完成させた事例報告でした。

それまでの工事施工業者が倒産してしまった状況の中で、管財人と交渉し現場にすぐに貼紙を出したり、元現場主任や下請け業者、テナントとも次々に交渉して、僅か開店が1ヶ月間の工期遅れで現場を完成させ引渡したこの事例方法は、建築士として責任を負うかも知れないリスクはあるものの、いざというときには、非常に参考になる具体例がたくさん詰まっていました。但し法的な問題が絡むので、信頼できる弁護士と相談しながら事を渉める

必要があるでしょうとのこと。

事務所協会顧問弁護士の星野先生には「工事業者の倒産に伴う法的な対処方法」について解説を頂き、その後の質疑応答では、監理者としての責任などについて会場全体が真剣な議論の場となりました。

会長や副会長の挨拶にもあったように、設計者や監理者としての責任や義務が過大化していく現在の流れの中、我々が法的な責任や回避方法について知っておくことは不可欠です。ビデオ録画しましたので、ご覧になっていない設計事務所の方には必見内容です。ビデオセミナーで再上映してくれることを期待しています。



神事協 住・緑・家コンペ 住宅第1号 進捗状況報告

横須賀支部 (有)雄設計室 古谷 雄一

「神奈川県産木材のいえ」ついに上棟しました。上棟して建物に近づくとぷーんと木の香り、そう言えば久しぶりに嗅ぎました。

4寸角芯持ち檜の柱・土台、H360のムク梁、間柱も全て神奈川県産材です。

真壁の採用と意匠としても柱を使った為、木材の材積も通常の2~3割増、しっかりとした木のパワーを感じる家の骨格が出来上がりました。

今回弊社が選ばれた住緑家（設計者選定コンペシステム）は、依頼者が住緑家登録事務所の中から3社を指名し、その3社がそれぞれ案を創り、依頼者に直接プレゼンテーションを行い、依頼者が設計者を選ぶ仕組みです。このコンペは神奈川県木材業協同組合連合会（県木連）との協働事業でもあり、神奈川県産材木の利用を促進することで、神奈川の林業を復活させ、水源地でもある原木の育つ山を維持・保全する事を

目標とした、かなり壮大なプロジェクトです。

施主と打合せを重ねる中で紆余曲折ありましたが、木の列柱で囲まれた階段を家の中心に配置した、コンペ案のコンセプト通りのぐるぐる家中を廻れるプランになりました。横浜で代々材木業を営む施主の深い想いがあったからこそここまで出来た事を感謝すると共に、住緑家・県木連の県産材活用の取組がぐるぐると良い循環をして子供達に引き継いでもらいたいと願っています。



県産材の刻印



施主のお子さんが上棟のお清めをしているところ



上棟した全景

第9回(社)神奈川県建築士事務所協会 委員長会報告

開催日時：平成22年9月9日(木)

会 場：(社)神奈川県建築士事務所協会 2F会議室

出席者：12名出席 事務局2名 計14名

○各委員会報告

【ブロック支部委員会】

- *セカンドオピニオン機能については概要、規程案、予算等を含めた委員会設置案を纏め、次回の理事会に提出。
- *建築士事務所キャンペーン
日程：11月13日(土)～14日(日)
会場：ダイナシティ小田原
- *スポーツ大会開催
日程：10月16日(土)
会場：江の島ボーリングセンター

【設計監理指導委員会】

- *横浜市消費生活総合センターより、「消費生活相談に伴う住宅の施工に関する調査、診断および専門的助言業務」の依頼があった。
- *苦情解決業務に関する来年度の助成について現状の助成金を維持するよう日事連へ要望をした。あわせて電話相談を相談件数にカウントする件については、日事連発行の業務フローにも相談業務として認める旨が記載されていることを指摘し、今後検討し直すとの話になった。

【住・緑・家運営特別委員会】

- *森林循環フェア2010
日程：10月22日(金)～24日(日)
会場：小田原アリーナ
- *(財)建築技術教育普及センターの助成事業へ申請を行い、90万円の助成が認められた。この助成金を活用し、10月以降に各地域で開催されるイベント等で住・緑・家PR活動を行う。

【木造特別委員会】

- *各市町村の耐震診断補助基準の現状調査については、各市町村の資料がほぼ揃ったので、取り纏めを行った後、行政に対する是正を求める資料とするとともに、各支部における行政への折衝の材料として活用していただきたい。
- *標準仕様書（木造編）勉強会実施について、早急に開催するよう現在検討中。

【総財務委員会】

- *神事協ウォーキング
日程：11月13日(土)建築士事務所キャンペーン会場をゴールとする。
- *共済会規定の共済会友承認の件に関して、70歳の年齢規定についての削除見直しを検討する。
- *平成23年度予算については予算の基本方針を次回理事会で承認を得た後、各委員長へ予算案の提出を依頼する。

【技術調査委員会】

- *委員会内の各担当班における作業進捗状況について報告
- *次回委員会開催時、今後の研修会開催についての討議を行う。

【企画業務委員会】

- *マンション大規模修繕事務所登録講習会を実施し、現在の登録希望社数は45社。これを機に新規入会が2社あった。
- *来年2月26日に鎌倉見学会の開催を検討中。
- *告示15号に基づく業務報酬基準についてはほぼ完成した。会員のみ配布することとし、HPの会員ページよりダウンロード出来るようにする予定。
- *会議室に設置したピクチャーレールを使用した作品展示を行っていく。
第一弾として小島企画業務委員提供による「萱葺き屋根の家」及び「江戸時代の芝居パンフレット」の展覧会を9月4日～10月8日まで開催。協会員誰もが活用できるスペースにしていきたい。

【広報情報委員会】

- *誌面構成については現在12月号まで終了している。
- *広報活動に関するアンケートを実施。結果について取り纏めを行い、次回委員会にて検証を行う。
- *広報情報委員会主催にて舟遊ツアーを開催。
日程11月6日(土)。

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

技術調査委員会

委員 松崎 寛一

現在、技術調査委員会では芝副会長・西倉委員長・玉田副委員長のもと委員8名、事務局磯部氏も含めて、今年度の目標に向け作業を続けています。継続中の主な作業内容は①工事監理ガイドラインを実務用に使いやすくまとめる。②建築における環境問題について、今まで収集した資料をまとめて実施設計に取り入れる方法を検討していく。③2009年JASS5の改定にともない、特記仕様書・概要書・構造標準図を修正する。以上まとめの段階となり年度末に向け調整しています。その他9月の

委員会では、明治大学菊池教授を委員会にお招きして、先生の研究課題である「エンドユーザーのための目的志向型材料設定法」について講義をしていただきました。講義内容については会員のみなさまにも講習会として計画中です。また、エコ住宅の設計について知識・経験豊富な川崎支部の白石委員により毎回、環境問題・エコ住宅について研修しています。委員会終了後は場所を移して、建築技術の未来についての議論は深夜まで続くのであります。

第5回 支部長合同ブロック支部委員会開催報告

相模原支部 支部長 福永 憲一

平成22年9月15日（水曜日）に相模原支部が担当開催支部として橋本にて開催。当日は快晴の中、ブロック支部委員会を午前中に、午後から視察見学会、支部長合同委員会、正副会長合同委員会そして合同懇親会の5部構成。

長い一日が始まり、午前の会議が終了、午後の視察見学会集合場所の海鮮茶屋『浜陣』にて昼食。

浜陣さんのご協力により送迎バスにて、相模原市立博物館・惑星「いとかわ」で有名な宇宙科学研究所（JAXA相模原キャンパス）へ、博物館ではプラネタリウムで金星探査機「あかつき」鑑賞の予定でしたが。（手違いで未鑑賞!!ご迷惑をお掛けしました・すみません(-_-;)。JAXAでは二基の衛星ロケットの前で集合写真、館内でのロケット・衛星等の多数の展示品に興味津々で見入って頂きました。内心よかったかなとホッと一息、小一時間ほど鑑賞タイム。帰路『浜陣』に向かう。

午後からは『浜陣』の宴会場にて支部長合同委員会を開催、会員増強についての17支部長による白熱した意見交換があり、本会挙げて取組む姿勢の必要性和、その難しさも感じられた。引続き、正副会長を交えた合同委員会に、日事連より直行の上原会長に先ずはご苦

労様ですと。私事ですが、以前よりこの移動委員会も回を重ねるだけ充実した内容を協議する場になったと実感しています。

ここで、各委員会も無事終了、本日、オブザーバーの当支部役員、賛助会員を交えての懇親会、総勢38名の出席の中、上原会長の乾杯の発声で、兎に角、乾杯!!

暫くの歓談後、先ずは賛助会員の自己紹介に始まり、出席者に「私的な堅い話、柔い話」を頂き、趣味や健康についての談議で盛り上がり、最高潮のところで無事終了。

気分最高と酒の勢いを借りた19名の有志を伴い、支部役員のA氏の案内で二次会場へ。軽音楽と歌を聴きながら、相模原の今宵を何とか満喫して貰えたでしょうか?

それぞれほろ酔い気分で相模原を後に家路に向かい、長い一日が無事終わりました。この企画を支えてくれた出席者の方々に感謝します。

次回は11月17日（水）、横須賀支部さん宜しく!! 楽しみにしています。



行政レポート

横浜市中区の碑・史跡巡り

横浜市中区役所区政推進課 齋藤 友子

中区には、横浜開港の地ということであくさんの記念碑があります。そこで、中区役所では近代文化発祥に関する碑、文学碑、史跡など、中区内にある数々の碑を紹介した、「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」という広報印刷物を発行しています。これは、各々の碑の説明とともに中区内の代表的な6つのエリアを中心に碑をたどりながら散策できるコースマップを掲載したものです。私は仲秋の気配を感じる時期、このコースマップを片手に散歩することになりました。桜木町～馬車道～日本大通りを巡りながらいくつかの碑・史跡を紹介しようと思います。

桜木町駅で下車すると横浜桜木郵便局付近に、明治5年横浜駅（現桜木町駅付近）―新橋駅間の日本初の鉄道開通を記念した「鉄道創業の地」碑があります。また尾上町通りを進み馬車道交差点で左折し海の方に少し進むと、右側の歩道にひときわ印象深い赤ん坊を抱えた裸婦の銅像、アイスクリーム発祥の



写真1

碑「太陽の母子」（写真1）があります。明治2年に町田房造が馬車道常盤町5丁目で氷水店を開業し「あいすくりん」と名付けて販売したのが日本初のアイスクリームと言われています。また、関内ホールの正面入口横の壁面には「日本で最初的气体灯」碑（写真2）があります。明治5年、高島嘉右衛門の



写真2

ガス会社により馬車道、本町通りにかけて日本初のガス灯が点されました。碑の両側には当時を復元したガス灯が建っています。また弁天通りとの交差点の手前に、文久2年に開業した日本初の写真家・下岡蓮杖が開設した馬車道の写真館を記念した円錐形の碑「日本写真の開祖写真師・下岡蓮杖顕彰碑」があります。次に弁天通りをしばらく東に進み、みなと大通りとの交差点を左折するとレンガ造のレトロな外観の横浜市開港記念会館があり壁に沿って3つの碑が並んでいます。これは、明治7年にできた貿易商の集会所である町会所「史跡 横浜町会所跡」、明治13年町会所内に設立された横浜商法会議所「横浜商工会議所発祥の地」碑、「岡倉天心生誕の地」碑です。商業・貿易の盛んであった明治維新の港町を想像させます。また、県庁前交差点を右折し本町通りを東に進むと、横浜地方検察庁の玄関脇に日本で初めて電報を取り扱った横浜伝信局の「電信創業の地」碑、大さん橋入口交差点付近には明治23年日本初の電話交換業務を記念した「電話交換創始の地」碑があります。最後に、開港広場には日本の開港を決定した「日米和親条約締結の地」記念碑、明治10年代に築造された最初の近代的水道の「登録有形文化財 マンホールと下水道」碑（写真3）があり当時のレンガ造のマンホールと下水道が展示されています。



写真3

このように、中区には少し歩いていただいてもたくさんの碑があります。ぜひ、皆さんも「よこはま中区の歴史を碑もとく絵地図」を片手に記念碑・史跡を巡ってみてください。外国文化の摂取で活気あふれる、いにしえ横浜の面影を感じられると思います。

神事協・健康教室 開催報告

事務局 渡邊 美和

長く続いた猛暑から、ある日突然秋になりました。過ごし易くなり、夜には虫の声が聞こえます。「〇〇の秋」と言う言葉が沢山あるように、涼しくなると元気も戻り、やりたいことが沢山出てきます。が、一番先にやらなくてはならないのは、健康の管理と維持です。

という訳で、9月22日（水）、神事協会議室に神奈川県建設業国民健康保険組合の宮守理事長をお迎えし、「健康に生きる人生」をテーマとした講演会を開催いたしました。内容としては、食生活・運動・サプリメント等、盛り

だくさんでした。何よりも感動したのは、現在癌と闘っておられる宮守氏の力強さと、目力で！皆が「健康」についての意識を高め、健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を行うことが大切だと訴えておられました。早期ほど治癒力が高いのだと。

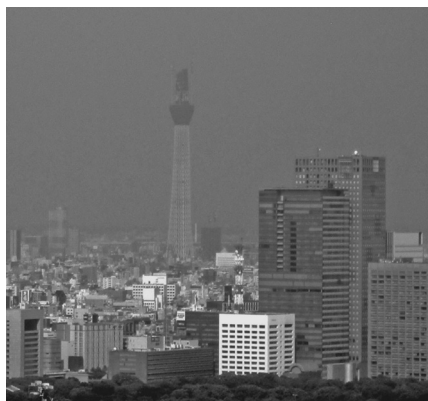
人の体は120年もつように設計されているそうです。いかに長くもたせるかは本人次第です。当協会でも年2回ウォーキングを企画していますので、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。



Town View

来年3月31日で休業し解体されることになった丹下健三設計のグランドプリンスホテル赤坂40階のラウンジから見たスカイツリーと、保存される旧朝鮮皇族李王家邸です。

撮影日：平成22年9月12日



スカイツリー



李王家邸

お知らせ

「森林循環フェア2010」開催のご案内

神奈川県主催の「森林循環フェア2010」は今年で5回目を迎えます。

第1回横浜市産貿ホール、第2回川崎アゼリア、第3回ららぽーと横浜、第4回湘南モールフィル・tvkハウジングプラザ藤沢、そして今年は小田原アリーナでの開催と成ります。目的は簡略すると「神奈川県産木材の流通量を増やすことで、外国産木材の流通以前の様な活気ある森林に戻そう」と言うことです。エンドユーザーに直に木のぬくもりを感じて頂き少しでも県産木材に興味を持って頂く、それが森林保全の第一歩になると考え活動をしています。

神事協「住・緑・家」運営特別委員会ではその都度、最新コンペ作品の展示やキャンペーンチラシの配布等を行い、コンペ申し込みの実績を残して参りました。

今年は、小田原・箱根木製品フェア2010と同時開催となり木製品を扱う木工店（約50社）の製品販売も行われ、また、全国「木のクラフトコンペ」も行われます。

皆様方の多数のご来場をお待ち申し上げます。

日 時：平成22年10月22日(金)～10月24日(日) 10:00～17:00

会 場：小田原アリーナ（設計者：坂倉建築研究所）（住所：神奈川県小田原市中曽根263）

食欲の秋！芸術の秋！キャンペーンの秋！！

平成22年度の神奈川における建築士キャンペーンは、**海・山・川**と自然豊かな神奈川県西部・小田原市で開催します。実施部隊として県西ブロック（支部）が日々奔走しています。

今年度は、全国統一テーマである「信頼のあかし 建築士事務所協会～わたしたちはあなたの夢を創造するパートナーです～」を掲げ、法定団体としての建築士事務所協会や連合会の役割及び会員建築士事務所の業務の周知、建築無料相談会（耐震診断含む）、セミナー・シンポジウム等の開催いたします。また市民の方々に楽しんでいただけるようなアトラクションも企画しています。

日 時：平成22年11月13日(土)、14日(日) 両日共10:00～20:00

会 場：小田原ダイナシティ ウェスト ロビンソン百貨店1階キャニオン

（住所 小田原市中里208 JR鴨宮駅南口下車 ダイナシティ行 バス10分）

【お問い合わせ】(社)神奈川県建築士事務所協会 県西ブロック 県西支部事務局

電話：0460-82-5437 Eメール：architect.honda@bj.wakwak.com

13日(土)18時からは、同会場のバンケットルームにて神事協の懇親会を盛大に行います。小田原の幸をご堪能ください！！県西ブロック一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

県西支部HPをご覧ください！ URL：http://kensei-arch.net

読者の広場

『一人旅』

二宮町 都市経済部 都市整備課 河村 誠

9月になって、東北岩手の中尊寺と遠野を旅してきた。

車窓から奥羽山脈の麓一面を黄色く染め頭を下げた稲穂の田園、その中の山河を目で追い旅行の醍醐味を味わった。

大学へ入ってから、兄に勧められ『青春18きっぷ』で人気の夜行『ムーンライトながら』で北陸を2泊3日で回ったのが旅デビュー。その時の経験は今でも鮮明に覚えていて、一人旅のベースとなっている。その後、九州一周や四国近畿等、全国鉄道路線を、季節を変え気が向くま

ま出掛けしている。大好きなプロ野球やサッカー観戦を目的に各地スタジアムを訪れ、ついでに足を延ばし観光してくる事もある。

事前に本やインターネットで調べ、駅前の格安ホテル予約・早朝出発・リュック一つの身軽さで出掛け、心身共にリフレッシュして戻るのがここ近年のスタイル。

こうして得た体験は、今の自分の支えでささやかな楽しみ。

そして次回の“遷都千三百年の奈良の旅”は、枕元から既に始まっている。

第10回 神事協 歌壇・俳壇

【俳句】

秋めくや歎び競う虫の声

(相模原文部 小林忠志)

猛暑日に秋先取りし秋刀魚焼く

(横浜支部 良酔)

稲妻の雨に炸裂闇に伏す

(川崎支部 雲休)

青空をあかく切り取り柿一つ

(事務局 走友)

秋霖に残りし虫の声細く

(事務局 走友)

【短歌】

深淵の黒部の瀑布素晴しく虹の輝き我を忘れる

(横浜支部 良光)

剣岳遠くに見える室堂のはい松の下雷鳥いづこ

(横浜支部 良光)

十五夜は夏の酷暑の残れるも今日は雨とて衣重ねむ

(事務局 通勤人)

【川柳】

寿津江おば亡き母のもとへ旅立ちぬ

(川崎支部 雲休)

別々のテレビで笑うさびしさよ

(横浜支部 良酔)

? 旅のクイズ 第3回 ? ? ?

問題

次の写真は横浜市の歴史的建造物の一部の写真です。
建物名をお答え下さい。

答えをメールまたはFAXにて事務局までお寄せ下さい。
正解者の中から抽選で御一人に3000円の図書券を差し上げます。(応募書式は問いません。)

(FAX: 045-212-3807 E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り: 10月20日(水) 当選者は11月号にて発表予定です。



会員異動報告

退会

大和綾瀬支部

(株)フロンティアコーポレーション一級建築士事務所 田中 光夫
〒242-0007 大和市中央林間4-7-1高橋ビル3階
TEL.046-278-2001 FAX.046-278-2002

相模原支部

(有)ヨシダスペースアート 吉田 雅幸
〒252-0203 相模原市中央区東淵野辺3-22-9
TEL.042-853-8600 FAX.042-856-0880

退会

横浜支部

(株)コーケン一級建築士事務所 臼井 公紀

川崎支部

小川一級建築士事務所 小川 弘則
(株)日豊一級建築士事務所 植田 伸一

変更

横浜支部

一級建築士事務所サワザキ環境設計
(所在地変更) 〒220-0003 横浜市西区楠町4-3
藤和横浜西口ハイウタウン510
TEL.045-548-4073 FAX.045-548-4074
(所属地区変更) 保土ヶ谷→西

横須賀支部

(株)秋山建設二級建築士事務所
(事務所名変更) (株)秋山建設一級建築士事務所
(会員名変更) 秋山 英幸

相模原支部

ワタナベ建築設計事務所
(TEL・FAX変更) TEL.042-712-4122 FAX.042-712-4127

合同会社ビボ・スペースラボ

(所在地変更) 〒252-0211 相模原市中央区宮下本町3-9-27
TEL.042-703-0658 FAX.042-703-0648

RAN企画設計

(事務所名変更) (株)RAN企画

県西支部

湘南マイホームサービス(株)
(会員名変更) 瀬戸 裕正

会 勢

平成22年9月10日現在

支部名	平成22年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	272	6	4	2
川 崎	94	91	2	5	-3
横 須 賀	57	55	0	2	-2
湘 南 三 浦	22	21	0	1	-1
藤 沢	21	22	1	0	1
鎌 倉	31	32	1	0	1
茅ヶ崎寒川	16	16	0	0	0
平 塚	21	20	0	1	-1
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	17	17	0	0	0
大和綾瀬	22	23	1	0	1
厚 木	36	37	2	1	1
座 間	11	12	1	0	1
海 老 名	14	14	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	87	87	1	1	0
県 西	51	49	1	3	-2
合 計	786	784	16	18	-2
賛助会員	65	68	4	1	3

10月の行事予定

10月1日	第35回建築士事務所協会全国大会(東京大会)
4日	賛助会事業計画検討会
5日	広報情報委員会 JW-CAD(日影及び天空率)研修会 (会場:県立東部総合職業技術校)
6日	新規開設「建築士事務所」講習会(会場:神事協議会)
7日	総財務委員会
8日	木造特別委員会 企画業務委員会
13日	技術調査委員会
14日	正副会長会 理事会 セカンドオピニオン立上準備会
16日	神事協スポーツ大会(会場:江の島ボーリングセンター)
20日	ブロック支部委員会
21日	神事協フェア(会場:横浜市技能文化会館)
22日	建築物耐震改修評価特別委員会
22~24日	森林循環フェア2010(会場:小田原アリーナ)
26日	建築士定期講習(会場:パシフィコ横浜アネックスホール)
27日	中間監査

編集後記

ようやく秋の気配が感じられる季節を迎えました。民主党のボス選り選挙も決着がつき、「騎兵隊内閣」を掲げたクリーンイメージの菅さんとなりました。今度は「有言実行内閣」を所信演説で掲げました。国内外にいろいろな問題が発生し、仕事内閣の今後が期待されます。広報誌「KANAGAWA」についても紙面の充実を図るべくアンケートを実施しました。今後、その結果を踏まえ軌道修正してゆきますので、よろしくご愛読下さい。
(川崎支部 恩田 耕爾)

かながわ 平成22年10月号(通号348号)

定価420円(消費税込)

発行 平成22年10月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小林 忠志
広報情報委員長 佐藤 光良
広報情報副委員長 吉田 宣郎
広報情報委員 稲葉 勉
恩田 耕爾
後藤かをり
竹尾 秀一
野口 友弘
川島 良夫
遠藤 世一
小泉 厚
杉崎 雅治
新倉 良一

(社)神奈川県建築士事務所協会・(社)神奈川県建築士事務所協会賛助会 共催

神事協フェア 開催

～ いい家つくろう ～

* * エコついて * *

(社)神奈川県建築士事務所協会および同：賛助会および建築士事務所の活動を内外へPRすることを目的とした「神事協フェア」をこのたび開催する事になりました。協会の各委員会によるセミナーの開催や日頃の委員会活動のPR、建築相談コーナーの設置、賛助会企業による商品PRなど盛りだくさんの内容にて実施します。入場も無料ですので皆様のお越しを是非おまちしております！

日 時：平成22年10月21日(木) 11：00開場～17：00終了予定

会 場：横浜市技能文化会館 2F多目的ホール（住所：横浜市中区万代町2丁目4番地7）

アクセス：JR根岸線関内駅南口から徒歩5分、市営地下鉄伊勢佐木長者町駅出口2から徒歩3分

開催内容

1、「建築いろはにほへと講座」～建築に関するセミナーを開催します！

①「住・緑・家コンペシステム」～建築士が考える、木の家のデザインセミナー

『「住・緑・家」運営特別委員会』（開催時間 11：00～12：00）

当日設計コンペお申し込みのお施主様は通常¥100,000の基本プラン設計費用（平面・立面1枚、建築士3社3プラン）がフリー！

②省エネってエコ？『企画業務委員会』（開催時間 13：00～14：00）

企画業務委員会が分かりやすく説明します。

③契約書の落とし穴『設計監理指導委員会』（開催時間 14：00～15：00）

同時開催で一般の方への無料建築相談コーナー開設します。お困りの皆様、大集合下さい。

④家の基礎の基礎（地盤）『技術調査委員会』（開催時間 15：00～16：00）

あなたの知らない地盤のことをお教えします。

⑤伝統工法に学ぶ自立循環型住宅『木造特別委員会』（開催時間 16：00～17：00）

木の良さってなに？くぎを使わない工法って？みんなのまちで産まれる、「県産材」って？

2、「ちょっと困ってるの、どうすれば良いでしょうか？」にお応えします！

一般の方にむけて、「建築相談コーナー」を開設中！

事前予約制ですのでお気軽にお電話下さい！045-228-0755（神奈川県建築士事務所協会事務局）

3、賛助会企業による、商品展示フェア

賛助会企業26社による、建築、建設、にまつわるいろいろなお役立ち商品の発表をします！みなさま、ご来場をお待ちしております！！

賛助会会員の皆様へ 以下大募集中です!!

◆賛助会ホームページ <http://navi.nikkori-house.jp/kanagawa-sanjokai/Default.aspx>

（「神奈川県建築士事務所協会HP」のトップページ→「神奈川賛助会」から入れます）
本会の先生方限定のお得な情報（会員様限定の割引価格などなど）をHPに掲載（掲載費無料）

◆会報『kanagawa』原稿

こちらのページを新商品、新工法、また企業のPRにご活用ください!!（掲載費無料）

お問い合わせは…担当：広報委員 西村真一（三洋工業株式会社）

TEL：03-3685-3452 Mail：shi-nishimura@sanyo-industries.co.jp